

2015年4月1日

一般社団法人日本産業カウンセラー協会
産業カウンセリング研究所

第44回産業カウンセリング全国研究大会 in 沖縄

第5分科会「産業カウンセリングにおける研究活動とは」 ～実践家が研究を行う意義の再認識を求めて～ 参加へのお誘い

この5月末に2年ぶりに開催される全国研究大会では、第5分科会で「産業カウンセリングにおける研究活動とは」と題して、会員の皆様に産業カウンセリング活動における研究的な活動のあり方、方法などについての認識を深めていただく企画が行われます。

この分科会では、目白大学の原教授による研究のあり方や方法の基礎的なお話し、協会の公募研究事業で研究をされた3人の会員の方と東京支部の研究委員会からの研究報告に加え、「こんなことを研究したい」「こんなことを調査したが問題はないか」などについて参加者と研究者の意見交換の場も設けます。

産業カウンセラーとして、現在、研究や調査活動に携わっている、これから携わりたいなど、ご関心をお持ちの会員の方々のご参加をお待ちしております。

記

【日時】 2015年5月31日（日）9：00～15：00

【場所】 沖縄コンベンションセンター 会議棟

【分科会内容】 詳細は、別紙をご参照ください。

【申込方法】 会報1月号同封の大会パンフレット申込書（ファックス・郵送）
または、下記の「全国研究大会申込サイト」よりオンラインで
お申込みください。

<https://amarys-jtb.jp/jica-oki/>

【締切日】 オンラインは4月15日（水）
ファックスは5月8日（金）まで

【大会参加費】 当協会会員 13,500円
産業カウンセラー養成講座受講中の方 10,000円
一般の方（非会員） 14,000円

*詳細は、上記「全国研究大会申込サイト」をご覧ください。

以上

第5分科会 概要

「産業カウンセリングにおける研究活動とは」

～実践家が研究を行う意義の再認識を求めて～

<意図する事項>

産業カウンセラーが、自らの専門性を高め、またその活動の成果を社会に認めってもらうためには、個人カウンセリングのケースはもちろん、クライアントの背景にある職場環境などについても、客観的で仮説実証的な視点を持って研究的な態度で活動することが望まれる。

この分科会では、会員に、産業カウンセリング活動における研究的な態度と研究活動についての認識を深めてもらうことを意図する。

<第5分科会ナビゲーター>

田中 寛二

琉球大学法分学部准教授（臨床心理士・シニア産業カウンセラー）

<コーディネーター>

渡邊 忠

日本産業カウンセラー協会 シニアアドバイザー

（元・文教大学教授）

<主 旨>

産業カウンセラーが、自らの専門性を高め、またその活動の成果を社会に認めってもらうためには、個人カウンセリングのケースはもちろん、クライアントの背景にある職場環境などについても、客観的で仮説実証的な視点を持って研究的な態度で活動することが望めます。ところが実践家にとっては、「研究は、専門の研究者が行う小難しいもの」と端から敬遠されがちです。

そこでこの分科会では、セッション1で、そもそも産業カウンセリングにおける研究的な態度や研究活動とは何か、何をどうすればよいかのノウハウについて研究の専門家からの解説を、セッション2では、協会の公募研究事業や東京支部の研究開発専門委員会で研究活動を行った会員の研究報告と苦勞談を、セッション3では、これから自分の活動を研究的に見直してみたいと思われる会員の方々の意見交換と交流（セッション2の都合で時間がある場合は、ある問題について参加者が研究計画を立ててみるワーク？）を行います。

これらのセッションを通じて、会員の皆様が研究活動を身近なものに感じ、実践してみる気持ちになっていただければと思います。

<分科会の構成>

セッション1：講話

ゲスト・スピーカー：原 裕視 教授（目白大学）

テーマ「研究はむずかしい？ 産業カウンセラーの研究的態度と研究活動のノウハウ」（仮題）

- ・そもそも研究とは何か
- ・産業カウンセリング活動において研究的な態度や視点はなぜ必要なのか、（データバイストの大事さも？）
- ・調査研究、実験研究や事例研究などの研究は具体的に何をどうすることなのか
- ・人を対象にした研究で配慮しなければならないことは何か

セッション2：研究報告

1. 2012年度第1回公募研究者：江頭尚子（九州支部）「セルフ・リーダーシップの研究」
2. 2012年度第1回公募研究者：須田行雄（北関東支部）「回想法の研究」（欠席：紙上報告）
3. 2013年度第2回公募研究者：川島 彰（神奈川支部）「高校生キャリア形成の研究」
4. 東京支部研究開発専門委員会：重本桂（東京支部）「中小企業への産業カウンセラーのかかわり」

*1人あたり、研究内容の報告15分、研究苦労話10分、質疑応答5分、計30分の予定

セッション3：参加者と研究者の交流

- ・参加者からの問題提起「こんなことを研究したい」などについて、ナビゲーター、ゲスト・スピーカー、研究発表者との意見交換（全体で）
（または、参加者がグループに分かれて研究活動体験の交換⇒質疑応答（全体で））

<タイム・スケジュール>

9:00 開会・オリエンテーション

9:10 (S1) 講話「研究はむずかしい？—産業カウンセラーの研究的態度と研究活動のノウハウ」（仮題）（質疑応答含む）

10:40 (休憩)

11:00 (S2) 1. 公募研究者報告（江頭尚子）

11:30 2. 公募研究者報告（須田行雄）：欠席のためレポート代読

12:00 (昼食休憩)

13:00 3. 公募研究者報告（川島 彰）

13:30 4. 東京支部研究者報告（重本桂）

14:00 (休憩)

14:15 (S3)・参加者と研究者の交流

15:00 終了

*進行アシスタント：本部研究所職員 服部奈保子

以上